

からふる



平成30年2月 冬号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

特集 色々な力を伸ばそう ～アクティブスクール事業～

千歳市では、各学校の「特色ある教育活動」や「外国語活動」を支援するアクティブスクール事業を実施しています。各学校によって様々な活動を行っていますが、今回はその中から「ふるさと教育」「他学年との交流」「食育教育」「学ぶ意欲の育成」の取組について、ご紹介します。

【北栄小】仲良くなろう！千歳の身近な自然

身近な自然の観察や自然と関わる体験などを通して、千歳市の自然環境の良さに気付くことを目的としています。



稲作という栽培体験を通して、子どもたちが農業の大切さに気づき、食や環境についての関心を深めることを目的としています。

【祝梅小】体験農園～米を作ろう

ジャンボタイム【信濃小】

全学年を通し、他学年と交流を行うことで、思いやりの心を深めるとともに、自分達で企画実行する力の育成を目的としています。



放課後及び長期休業中の学習会などに補充学習として英語を学習する機会を増やし、生徒の英語力の向上を目的としています。

学力向上～放課後学習【富丘中】

ふるさと
教育

他学年
交流

食育・健康
教育

学ぶ意欲
の育成

小学校

そのほかの平成29年度の主な事業

中学校

- 【千歳小】 サンドレイク小学校との交流
- 【北進小】 エンジョイイングリッシュ 【末広小】 アイヌ文化学習
- 【緑小】 千歳川・カーナー学習 【千歳第二小】 深める環境福祉
- 【駒里小】 情報収集・発信をしよう 【日の出小】 日の出タイム
- 【支笏湖小】 支笏湖ふるさとタイム 【東小】 小麦の秘密
- 【高台小】 高台っ子ふれあいフェスティバル
- 【桜木小】 桜木体力向上プロジェクト 【向陽台小】 向陽台っ子国際隊
- 【北陽小】 仕事の達人 【泉沢小】 活動の記録

- 【千歳中】 小中連携プロジェクト
- 【北進中】 千歳高校吹奏楽部演奏会
- 【青葉中】 総合的な学習
- 【東千歳中】 柏タイム
- 【駒里中】 駒里の土で創る活動
- 【北斗中】 北斗ふれあいサークル
- 【向陽台中】 向中フェスティバル
- 【勇舞中】 キャリア教育



平成30年度主な教育施策(案)の概要

平成30年度の教育予算(案)は、総額35億4千3百万円で内訳は下記グラフのとおりです。
『未来への飛翔・すべては子どもたちのために』を基本とした教育施策を一層推進します。

習熟度別少人数指導の推進

小学校13校と中学校2校に配置している「**学習支援員**」を8名増員し、**中学校への配置拡大を進める**など、習熟度別少人数指導の充実・拡大を図ります。

- ・学習支援員
小学校：20人⇒22人
中学校：2人⇒8人



ICT機器を活用した教育の推進

小中学校では、コンピュータ教室での調べ学習や全教室に配置した電子黒板、実物投影機等のICT機器を活用した授業を推進しています。平成30年度は、2か年計画で、**全小中学校のコンピュータ教室に配置しているパソコン機器を更新**します。

- ・小学校：10校・270台更新
- ・中学校：4校・130台更新

小学校外国語活動の拡大

次期学習指導要領の改訂に伴う小学校外国語の教科化を見据え、平成30年度は、**5・6年生の外国語活動を年35時間から年50時間に拡大**し、新たに**3・4年生でも年15時間の外国語活動を実施**します。円滑な実施に向けて、外国人英語指導助手(ALT)1名を増員します。

- ・小学校外国人英語指導助手：3名⇒4名

学校施設の整備

老朽化した**校舎、教室、設備等の改修**や**トイレの洋式化**、**屋内運動場の非構造部材**(天井材、照明器具など)の**耐震化工事**(落下防止対策)を計画的に進めています。

- ・小中学校改修工事：3校
- ・小中学校ボイラー等更新工事：3校
- ・小中学校屋内運動場耐震化工事：5校

コミュニティ・スクールの導入

保護者や地域の意見等を学校経営に反映し、学校・保護者・地域が協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える**コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)**を準備の整った**モデル校から順次導入**します。

- ・モデル校：高台小、青葉中、駒里小中

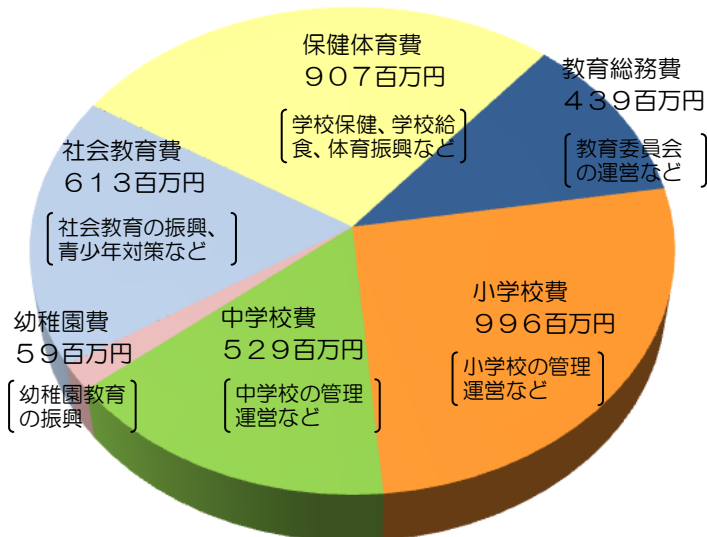
学校支援地域本部事業の拡大

学校、家庭、地域で子どもを育てる体制をつくり、**地域の方々に学校のニーズに応じて授業支援などのボランティア活動**をしていただく、学校支援地域本部事業を**全小中学校に拡大**し実施します。

- ・実施校の拡大：22校⇒26校



平成30年度の教育予算(案)の内訳



【歳出合計：3,543百万円】

小中学校司書の配置時間の拡大

図書の分類整理や配架、選書などの学校図書館の運営支援を行う**学校司書を増員**し、司書教諭や図書館担当教員と連携して、読書環境の充実、授業や調べ学習における学校図書館の活用の推進を図ります。

- ・配置の拡大：1校当たり約216時間の増
3校に1名⇒2校に1名

小中学校就学援助事業の推進

経済的な理由によって就学が困難な児童生徒の保護者の方に就学援助費を支給しています。今年から**新入学児童生徒学用品費(入学準備金)の年度前支給を開始**します。これにより、中学校に入学する場合には、小学6年の認定状況に基づき、入学する年の3月に支給を受けることが可能になりました。

- ・入学準備金の支給時期：入学年の5月⇒3月

学校の特色ある取組を紹介します！

緑小学校

自ら調べる習慣を！ ～マイディクショナリー事業～

緑小学校では、平成29年度から、3～6年生児童を対象に、国語辞典を1人に1冊“卒業まで校内で貸与”する「マイディクショナリー事業」に取り組んでいます。分からない言葉があったときは自ら調べ、一度調べた言葉に付せんを貼る作業を続けてきたことにより、辞典を引くことが習慣になってきました。今では、辞典の活用が日常化し、子どもたちの言葉の数が着実に増えています。

また、子どもたちの手元に辞典を置き、すぐに使えるようにするため、PTA手芸部の協力を得て、約300人分のディクショナリーバックを準備しました。

今後も、保護者と学校がチームとして取り組みながら、子どもたちの力を引き出していきたいと考えています。



泉沢小学校

体力づくりに継続して取り組む ～全校なわとび検定～

泉沢小学校では、平成28年度から「なわとび検定」を始めました。6月・9月・12月・2月の各月に2週間ずつ、主に休み時間を利用して実施しています。技の難易度によって、10級から4段まで設定しており、上達度に応じて段級位を認定しています。子どもたちが自ら意欲を持って取り組めるように、5級以上の難しい技ができた子どもの顔写真と名前を体育館入り口に掲示したり、全員に認定証を渡したりしています。

1年を通して、体力づくりに継続的に取り組むことで、体力テストの結果にも成果が現れてきています。

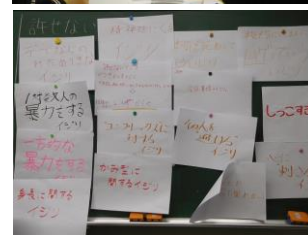


千歳中学校

「いじめゼロ」の取組 ～明るく前向きな学校を目指して～

千歳中学校では、明るく、いじめのない学校を目指すために、全校を挙げて「いじめ」について考えています。特に今年度は、「アサーティブな対応」に着目して、お互いを考える表現について学びました。「アサーティブ」とは、相手のことを思いながら、自分の気持ちを伝えることです。この表現方法を身に付け、先生方の手を離れて、生徒達が自ら進んで考えていくことにより、『いじめゼロ』へつなげていきたいです。

このような取組を始めとした様々な生徒会活動を通して、明るく前に進んで行けるように千歳中学校全校生徒で協力していきます。



家庭生活宣言 ～千歳市PTA連合会の取組～

千歳市PTA連合会では、平成27年に子どもたちが規則正しい生活習慣を身に付けられるよう家庭生活ルールと家庭生活目標を定めた「千歳市家庭生活宣言」を作成しました。この取組には特効薬がなく、地道に継続して活動していく必要があるため、教育委員会や町内会連合会とも連携し、平成28年9月に「千歳市家庭生活宣言推進委員会」を設立しました。

市内全てのPTAが共通理解のもと連携し、推進委員会は、これを広める取組を進めており、平成29年度からは「みんなで進める千歳のまちづくり条例」による協働事業として、家庭生活宣言の見直しをはじめ、家庭生活宣言クリアファイルを配布する計画の作成や普及促進のための講演などを行う千歳市家庭生活宣言推進フォーラムの開催に取り組んでいます。

とびっくす

いじめシンポジウムを開催しました！

11月25日(土)に北ガス文化ホールで「なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム」を開催し、市内小中学生・保護者・教員など約350人が参加しました。

基調講演では、精神科医・立教大教授の香山リカ氏から、「いじめをなくすためには、皆で意見を言える環境を作ることが必要で、一人で解決しようとせず、大人にも相談してほしい」と助言をいただきました。

その後、祝梅小・向陽台小・駒里中・富丘中の児童生徒、向陽台中の教員・市P連代表の方から提言発表があり、「人にされてうれしかった行動を広げる取組を推奨していきたい」などの意見が出されました。



冬休み体験教室

銀粘土アクセサリーづくりに挑戦！

1月10日(水)に総合福祉センターで冬休み体験教室を実施しました。厚生労働省から「ものづくりマイスター」の認定を受けた講師の指導のもと銀粘土を加工し、指輪やペンダントなどを作りました。

小学3年生から中学2年生まで48名が参加し、楽しみながら「ものづくり」を体験しました。



まがたま 縄文文化を知ろう～勾玉づくり、 縄文クッキーづくり体験～！

1月9日(火)～14日(日)に、埋蔵文化財センターで、体験学習会「勾玉をつくろう！」「縄文クッキーをつくろう！」を開催しました。

勾玉とは、古代の日本における装身具の一つで、祭祀にも用いられたと言われています。勾玉づくりは、5日間の開催で、3歳から70歳代まで延べ44名が参加し、「滑石を削るのが難しかったけど楽しかった」、「また参加したい」などの声が寄せられました。

縄文クッキーづくりは、1日間の開催で、13名が参加し、食用どんぐりなどを材料として焼き上げました。「どんぐりが食べられるので驚いた」、「昔の食べ物について調べてみたい」など、興味や探究意欲を示す多くの声が寄せられました。



総合教育会議を開催しました！

12月1日(金)に今年度第2回目の総合教育会議が開催されました。この会議は、市長と教育委員会が相互に連携しながら教育行政を推進していくため、平成27年度から始まりました。

今回は、「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について」、「千歳市いじめ防止基本方針の改正について」、「小中連携・一貫教育について」を議題とし、学校や家庭での学力向上のための取組やいじめ防止対策、小中連携の取組などについて、多くの意見が交わされ、課題を共有しました。



千歳第二小学校 ～我が校の図書館～

千歳第二小学校では、朝の10分間をパワーアップ学習の時間として設定し、全校読書に取り組んでいます。読む本は家から持ってきたり、学校図書館で借りたりしていますが、本を選ぶお手伝いやアドバイスをしてくれるのが、学校司書の荒川さんです。荒川さんは、休み時間などに図書館に来る児童に、直接「おすすめ本」を教えてあげたり、読み聞かせやブックトークなどを通じて、わくわくできる本などを紹介しています。また、ハロウィンやクリスマスの季節には、飾り付けやポップでイベントにちなんだ雰囲気を作っています。月に一度の図書ボランティアの活動日には、お母さんたちと読み聞かせや蔵書整理を行うなど、子どもたちの読書推進に向けて、学校図書館と家庭の橋渡しの役割を担っています。



向陽台小学校 ～わたしたちの単P活動～

向陽台小学校PTAは、総務・教養・生活・学級代表の4つの委員会に、森ック(図書ボランティア)・おやじ会の2つの特別委員会を加えた6つの組織から構成され、会員一人ひとりの相互理解と協力により、各種活動に精力的に取り組んでいます。中でも、例年9月に開催している「ふれあいゲーム大会」では、おぼけ屋敷・たからさがし・ストラックアウト・橋の入れゲーム・うき輪投げ等を企画し、準備から出店まで、多くの参加者が交流を深めています。地域と連携したPTA活動を学校経営の重点の1つとして、今後も活動していきます。



編集・発行 千歳市教育委員会 (教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所:〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話:24-0819(直通) ■FAX:27-3743

■E-mail:kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL:<http://www.city.chitose.lg.jp/>